

令和5年度 ウンカ情報 第1号

令和5年7月18日
島根県病害虫防除所

…7月中旬の巡回調査において県内全域でセジロウンカを確認しました…



セジロウンカ長翅雌成虫(左)と被害(褐変穂:右)

セジロウンカ:7月中旬の巡回調査(25株払落し調査)において、県内全域でセジロウンカ成虫と一部地域で幼虫を確認しました。6月下旬の巡回調査では一部ほ場での発生を確認していましたが、今年度、初めての県内全域での発生となります。発生ほ場率は52.2%(平年64.2%)、捕獲数は2.0頭(平年53.6頭/50株)と平年に比べてやや少ない発生量です。

ウンカ類とコブノメイガは梅雨時の前線と共に飛来することが多いです。気象条件によっては今後も飛来する可能性があります。今後とも病害虫発生予察情報などの情報や、ほ場の発生状況に注意し適切な基幹防除を実施してください。

トビロウンカとコブノメイガ

トビロウンカは予察灯及び巡回調査では発生を確認していません。コブノメイガは予察灯では発生を確認していませんが、巡回調査では被害株と幼虫を確認しています。例年セジロウンカと同時期に飛来することから、今後の発生状況に注意し、適切な基幹防除を実施してください。



トビロウンカの長翅雌成虫(上右)と短翅雌成虫(上左)による被害(坪枯れ:下)



コブノメイガ成虫